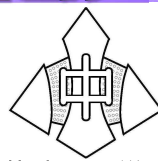


手をたずさえて

“小原田PRIDE”～自信と誇り

- 心身ともに健康で明朗な生徒
- 自主的に学習する生徒
- 責任を重んじ協調性のある生徒



令和3年11月15日(月)発行
【発行責任者】郡山市立小原田中学校長 熊坂 洋

3年2組 澄みきったきれいなハーモニーを披露！

11月11日(木)、「第49回郡山市中学校音楽学習発表会」が西部体育館で行われました。今年度で49回目を迎えるこの発表会は、市内の各中学校で実施される合唱コンクールで学校代表となったクラスが集い、その合唱を披露する伝統のある会です。本来は郡山市民文化センターで開催されるところですが、今年2月の地震の影響で文化センターが未だ使用できない状態であることから、今年度は西部体育館での開催となりました。本校代表の3年2組は、友垣祭の終了直後から朝や帰りの時間に練習を積み重ね、歌声に磨きをかけてきました。



令和3年度 郡山市中学校音楽学習発表会



伊東さくらさんが学級紹介を行い、伊東新君の指揮で演奏がスタートしました。3年2組の合唱「あなたに」は無伴奏での演奏です。伊東君の流れるような指揮の下、軽快なテンポでのさわやかな歌声が会場いっばいに響き渡りました。ハーモニーも澄みきったきれいなものでした。他校の校長先生からも「上手ですね」とお褒めの言葉をいただきました。本校の代表として立派な演奏を披露してくれた3年2組の生徒達に大きな拍手を送ります。また、生徒達は他校のすばらしい合唱を聴くことができたことにも満足感を得たようです。生徒達にとって貴重な時間となりました。そして、合唱で培った学級力を今度は受験に向けて発揮することを期待しています。

- ◆ 僕は指揮者として発表会に参加しました。文化祭の時よりも落ち着いて指揮をふることができ、自分でも納得のいく指揮者になれました。3の2が発表会に出場することができたのは、パートリーダーがしっかりしていて、各パートをちゃんとまとめてくれたおかげです。パートリーダーのみんなには感謝の気持ちでいっぱいです。パートリーダーのみんな、ありがとう。そして、応援してくれた皆さん、ありがとうございました。

(伊東 新) ♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

- ◆ 今回、私たち3年2組は学校代表として音楽学習発表会に出場しました。伴奏者なしでの発表ということもあり、練習ではたくさんの意見を出し合い、何度も指揮者と話し合いをしました。どんな時でも、姿勢・目線・ブレスの3つを意識し、本番では楽しく2組らしい演奏をすることができました。「もうみんなでこの曲を歌うことはないんだ」と思うと少し寂しいですが、毎日熱い指導をしてくださった浅野先生と2組のみんなでたくさんの思い出をつくることができ良かったです。(間日菜乃)



- ◆ 僕はアルトパートとして参加しました。文化祭当日は、まさか自分のクラスが(市音楽学習発表会に)出場できるとは思っていなかったもので、僕自身とても驚きました。そして、いざ本番になると、思っていたよりたくさんの学校が来ていてプレッシャーが大きくなりました。しかし、この日に向けて時間をかけて練習してきたことをバネに、自分たちらしい歌を歌いることができました。歌ってみて、学級で一丸となってひとつのことを頑張ることの大切さを学びました。この経験を今後の生活に活用できるようにします。音楽学習発表会に出場できて楽しかったです。応援してくださった方々、ありがとうございました。(長尾悠生)

- ◆ 私は音楽学習発表会にアルトとして参加しました。発表会までの限りある時間の中で、2組の合唱をよりよくするために意見を出し合ったり、たくさん練習したりして、私たちの絆が深まったような気がします。また、発表会では、たくさんの学校が選んだ曲にそれぞれの思いを込めて演奏しているところを間近で聴けて、とても貴重な体験をすることができました。これからは受験という目標に向かい、また努力したいと思います。

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

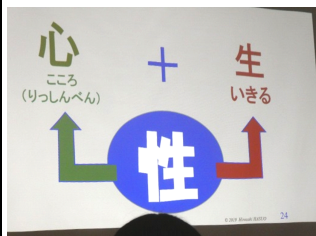
(関根美祐)

大切にしたい外部講師の方々のお話

コロナウイルスの感染状況が落ち着きを見せる中で、2学期は外部講師の方々をお招きしての学習活動が各学年で行われています。2年生では、10月26日



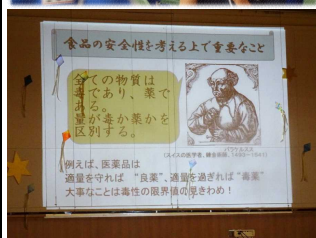
真剣に話に聞き入る1年生



に福島県助産師会の方々による「思春期講座」が行われました。思春期真っ只中の2年生に対して、性の多様性、身体の変化、お互いを尊重した理想的な関係などのお話がありました。「知識は愛であり光であり、未来を見通す力なのだ」という言葉が示されましたが、正しい知識を持って、自分の意思で自分の人生を切り拓いていくことが大切であるということ学ぶことができました。



1年生では、10月27日に星総合病院の保健師の方をお招きし「喫煙防止教室」が行われました。喫煙者の多くがかかる“COPD”（慢性閉塞性肺疾患）という病気の苦しみをストローを使って疑似体験するなど、健康に生きることについて考えることができました。また、11月10日には郡山市保健所の方による「食品安全ゼミナール」が行われました。ゼロリスクの食品は無いなど、食の安全に関する具体的なお話がありました。生徒からの質問として“食中毒”や“賞味期限”についても分かりやすく説明していただきました。



上段：2年思春期講座、中段：1年喫煙防止教室
下段：1年食品安全ゼミナール

専門家の方からの学びには、普段の授業では得ることのできない特別なものがあります。自分の人生をより安全で豊かなものにするために、大切にしていきたいものです。

そして、来校された外部講師の方々が必要とっていいほど褒めてくださるのが、生徒達の話聞く姿などの態度面のすばらしさです。講師の方のお話を食い入るように聞く姿が随所に見られます。とてもすばらしいことです。常々「人の話を聞ける人間」になってほしいと思っています。そこでこの話をよくします。

人の話は耳できく。
そして、目できき、頭できく
さらに、心できく。

耳で聞くのは当たり前だが、目できく＝話し手を見てきく、
頭できく＝話の内容を考えながらきく、心できく＝話の中で
大切なことを心で受け止め心に留める、ということ。

これらを実践している生徒が小原田中にはたくさんいるということです。

ようこそ 小原田中へ！ 新入生体験入学

11月12日（金）には新入生体験入学が行われました。小原田小、永盛小の6年生、約60名が来校しました。

授業参観や部活動見学を行いました。中学校生活の概要説明では、生徒会長の凌りくさんから「中学校は楽しいところです。安心して入学してください」との話がありました。その後、各部活動の部長が部活動紹介を行いました。プレゼンの資料はパソコン部の生徒が作成してくれました。ユーモアのある話があったり、実演があったりと、短い時間ではありましたが、6年生達も興味をもって話を聞いていたようです。

6年生としての残り少なくなった日々を、一日一日大切にしながら、小学校のしめくり《まとめ》として、中学校への準備期間として、充実させてほしいと思います。

4月の入学を楽しみにしています。

